

精密工学会賞 第1回（2005年度）

受賞者業績紹介

受賞者： 稲崎 一郎 氏

稲崎一郎氏は、1969年に研削加工における再生びり振動に関する研究で工学博士の学位を取得したのち直ちに慶應義塾大学工学部に奉職し、1984年から同大学教授に就任、現在は、同理工学部長の職にある。この間、アーヘン工科大学訪問研究員、カリフォルニア大学バークレー校客員教授などをつとめている。

稲崎氏は、これまで一貫して精密加工分野における教育ならびに研究の発展につとめ、1990年から4年間精密工学会の理事として国際協力部会長を担当した他、50周年国際会議委員、8th ICPE 実行委員、欧米精密工学会との三極合同国際会議の1回目となる10th ICPE 実行委員長、また本会以外でも2004年度にCIRPの会長をつとめるなど、特に当該分野の国際化および国際交流に多大な貢献を果たしている。その成果が世界的に認められ、1999年にドイツハノーバー大学から名誉博士号を授与され、2005年にはSME（Society of Manufacturing Engineers）からTaylor Medalを受けている。また国内においては、これまでに精密工学会理事、砥粒加工学会会長、SME東京支部長などを歴任している。以上のように、稲崎一郎氏がこれまでに果たしてきた精密加工分野発展への功績とこれに対する国内外の評価は極めて高く、よってここに精密工学会賞を授与するものである。

1969年慶應義塾大学大学院博士課程修了

同年 同大学工学部奉職

1984年同大学工学部教授

現在 同大学理工学部長、工学博士